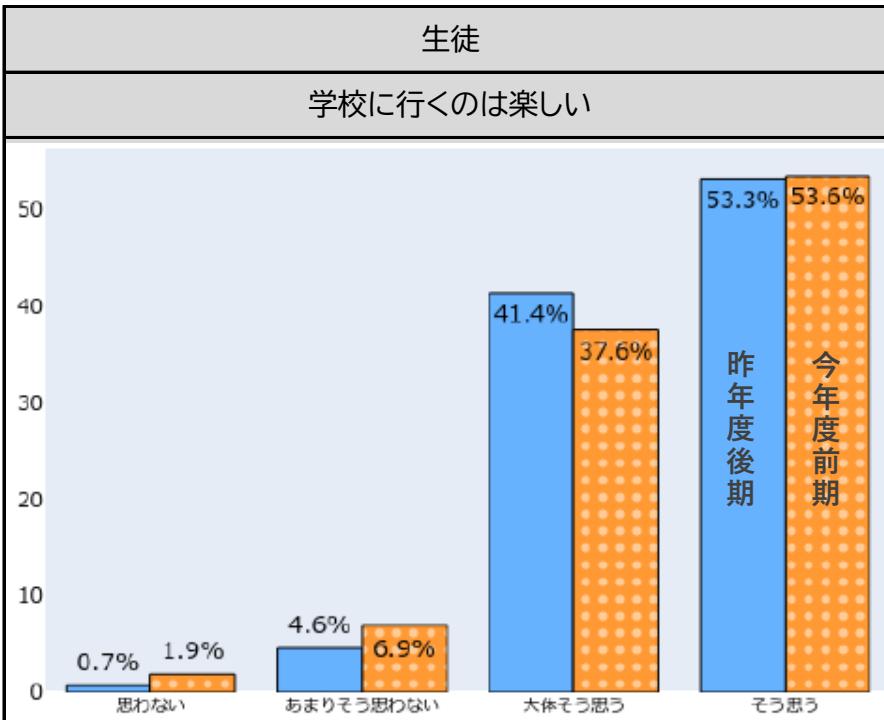
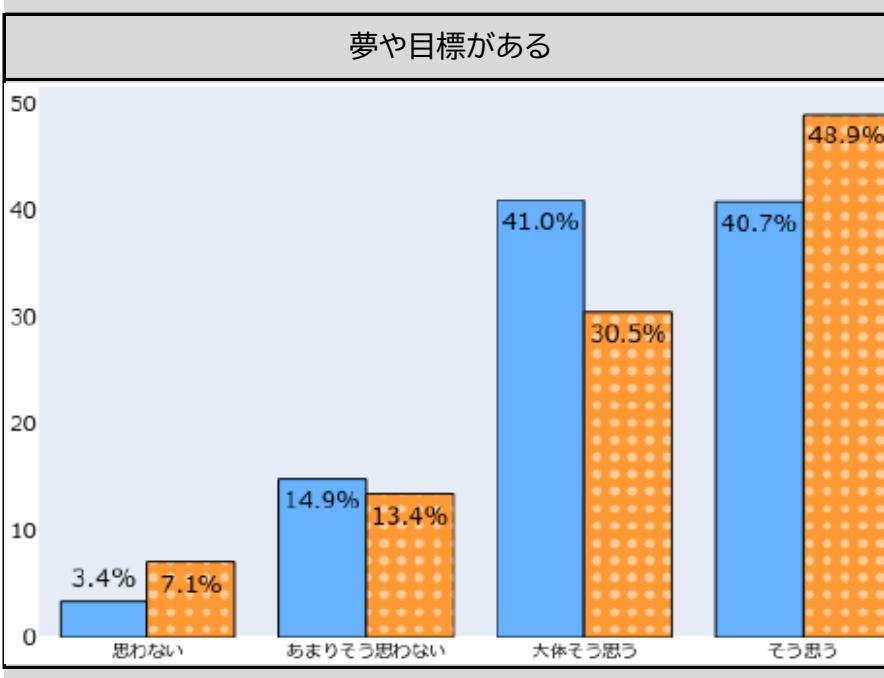
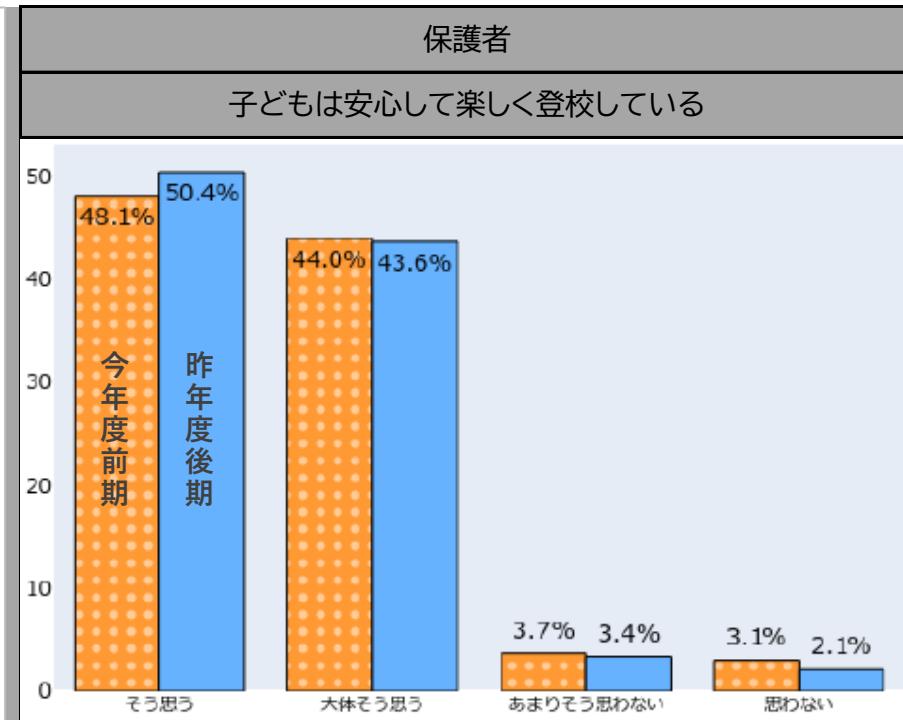


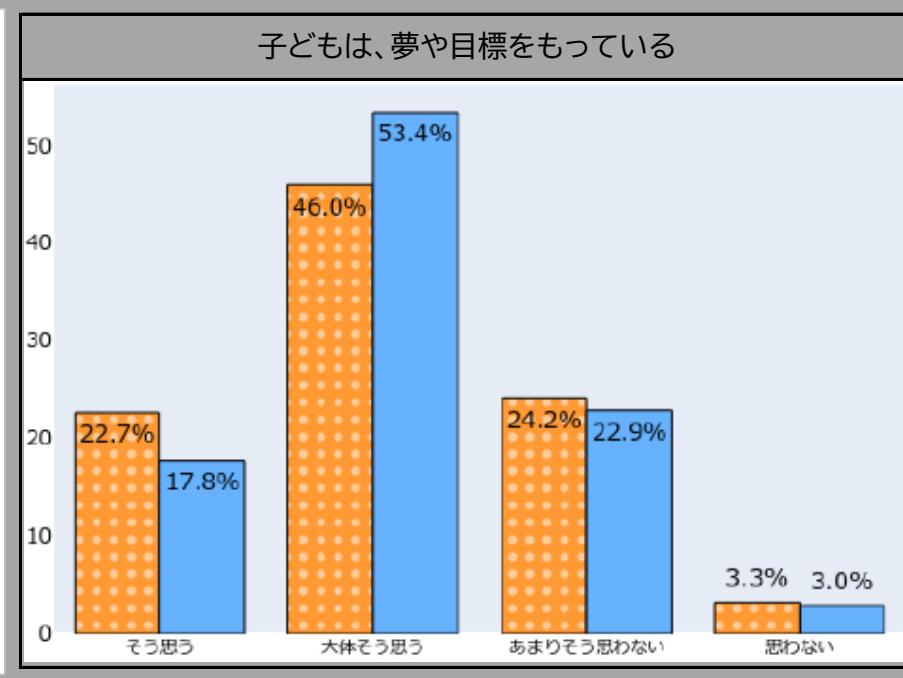
前期アンケート(1/4)



保護者と生徒の認識に、大きな差はありません。生徒が学校で楽しさを実感するには、仲間や教職員とのあたたかい繋がりや信頼関係など、心理的な安全性や安心感を感じられる空間であることが必要条件です。そのことを再確認し、今回否定的な回答をしている約10%の生徒たちにとっても、楽しい学校づくりに努めます。



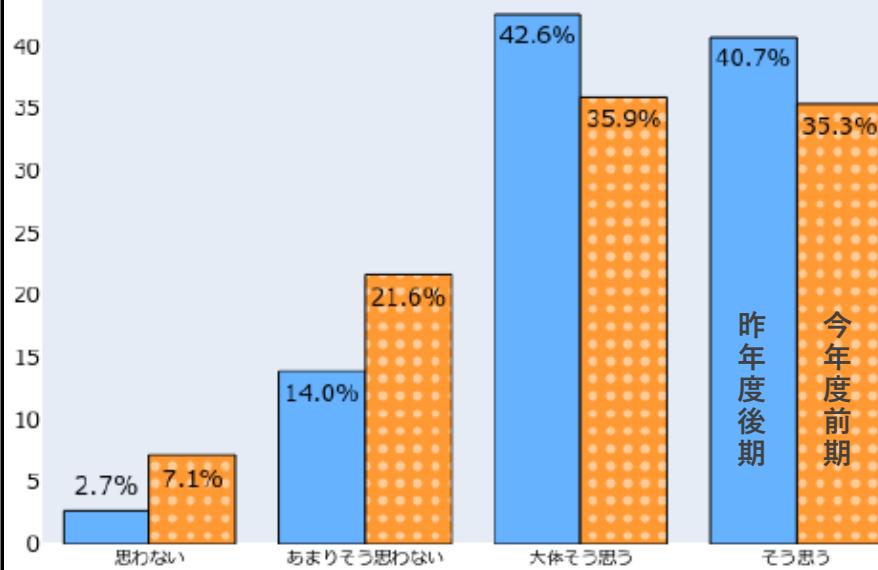
大人が思っている以上に、生徒たちは若者らしい輝く夢や志、目標をもっていることがわかります。夢は前向きに生きるために原動力になります。5人に1人が否定的な回答になっていることを重く受け止め、多様な学びを通して、一人一人が自分らしさを発揮し、次代や自らの未来の担い手となる姿勢や力を大切にして教育活動に取り組んでまいります。



前期アンケート(2/4)

生徒

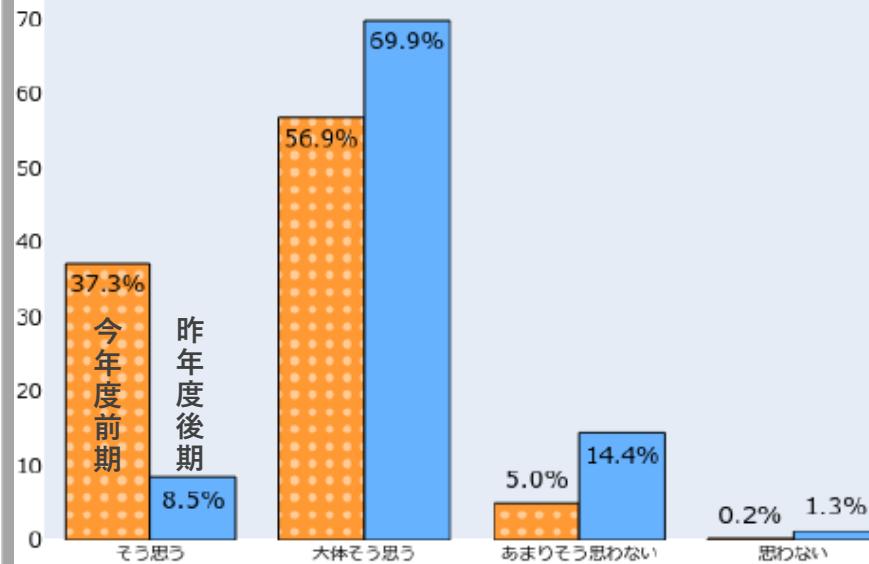
将来について、家でよく話をする



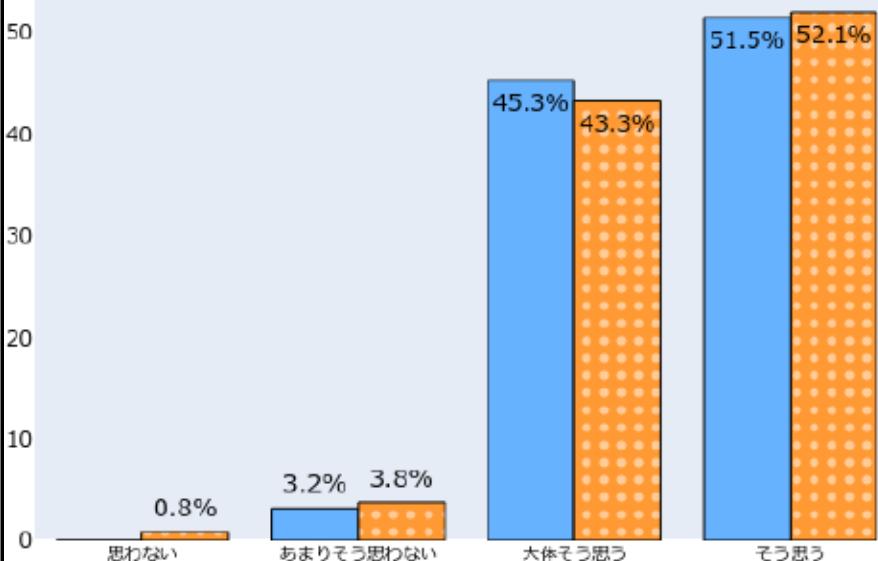
家で将来のことを話していると認識している生徒が、昨年度に比べ減少傾向にあることが気になります。家庭での親子間コミュニケーションの有無や内容が、学習意欲や学業成績に作用したりするという研究結果もあります。学校としましても、ご家庭での会話、対話を生む働きかけを行っていきます。

保護者

家庭では、子どもの表情や生活を確認し、会話をしている

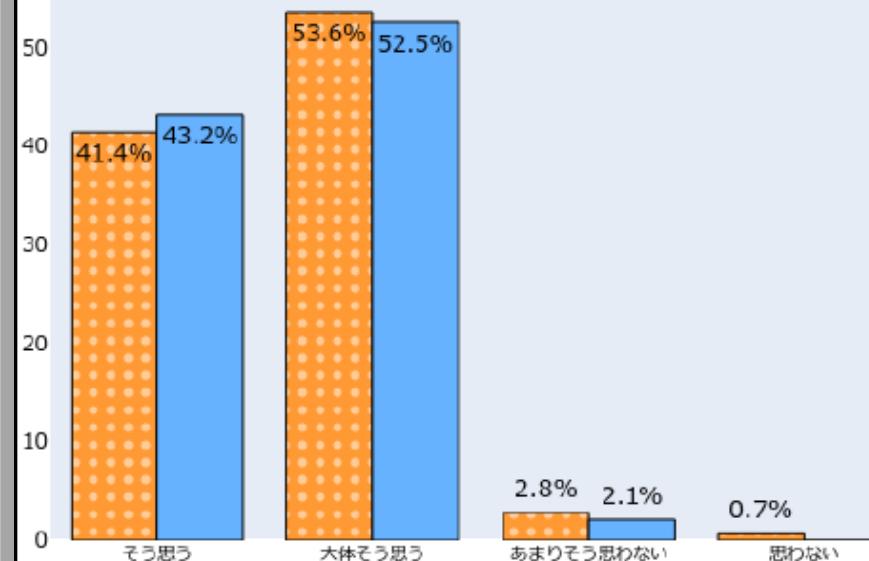


人の考えを尊重し、協力している

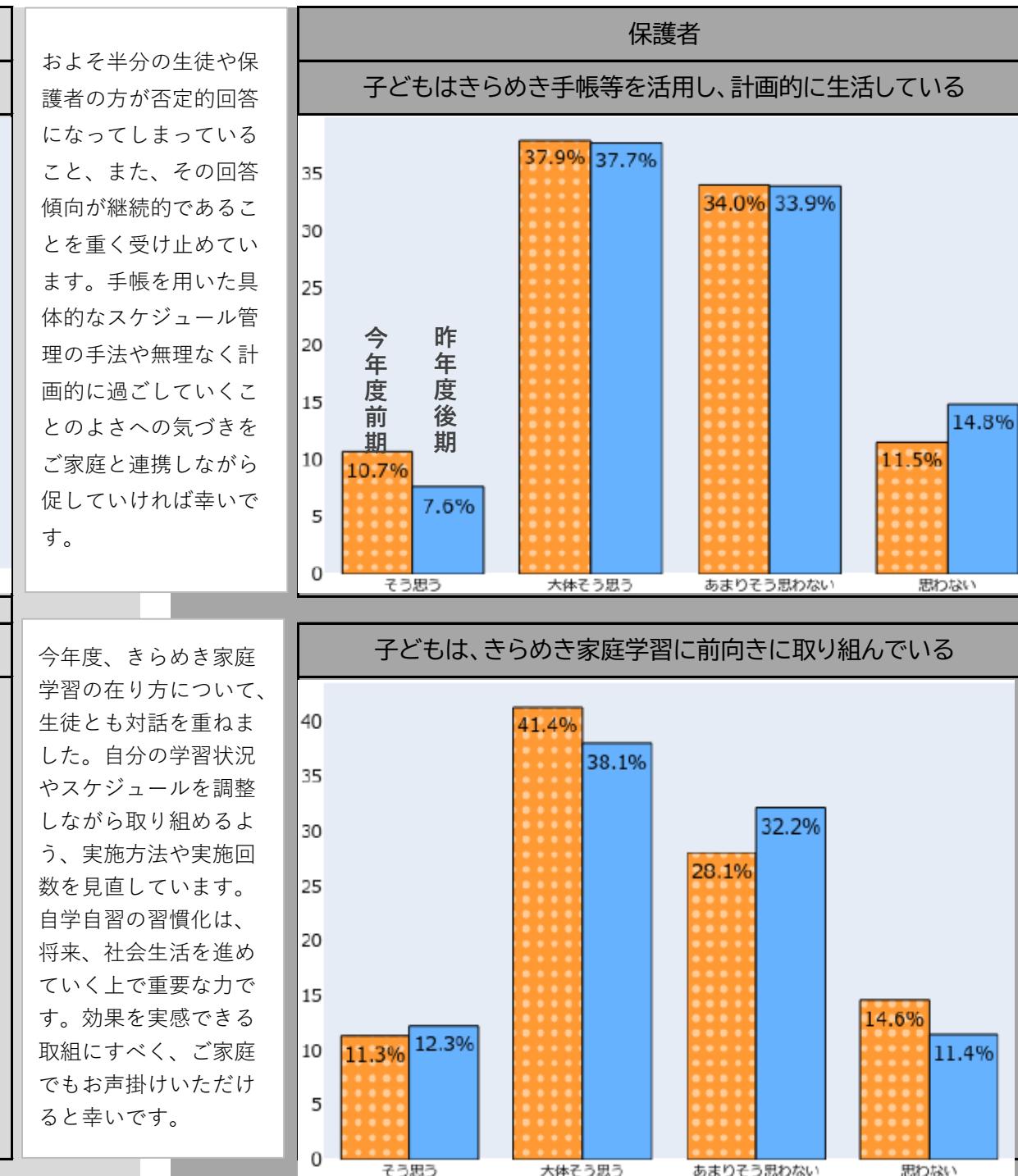
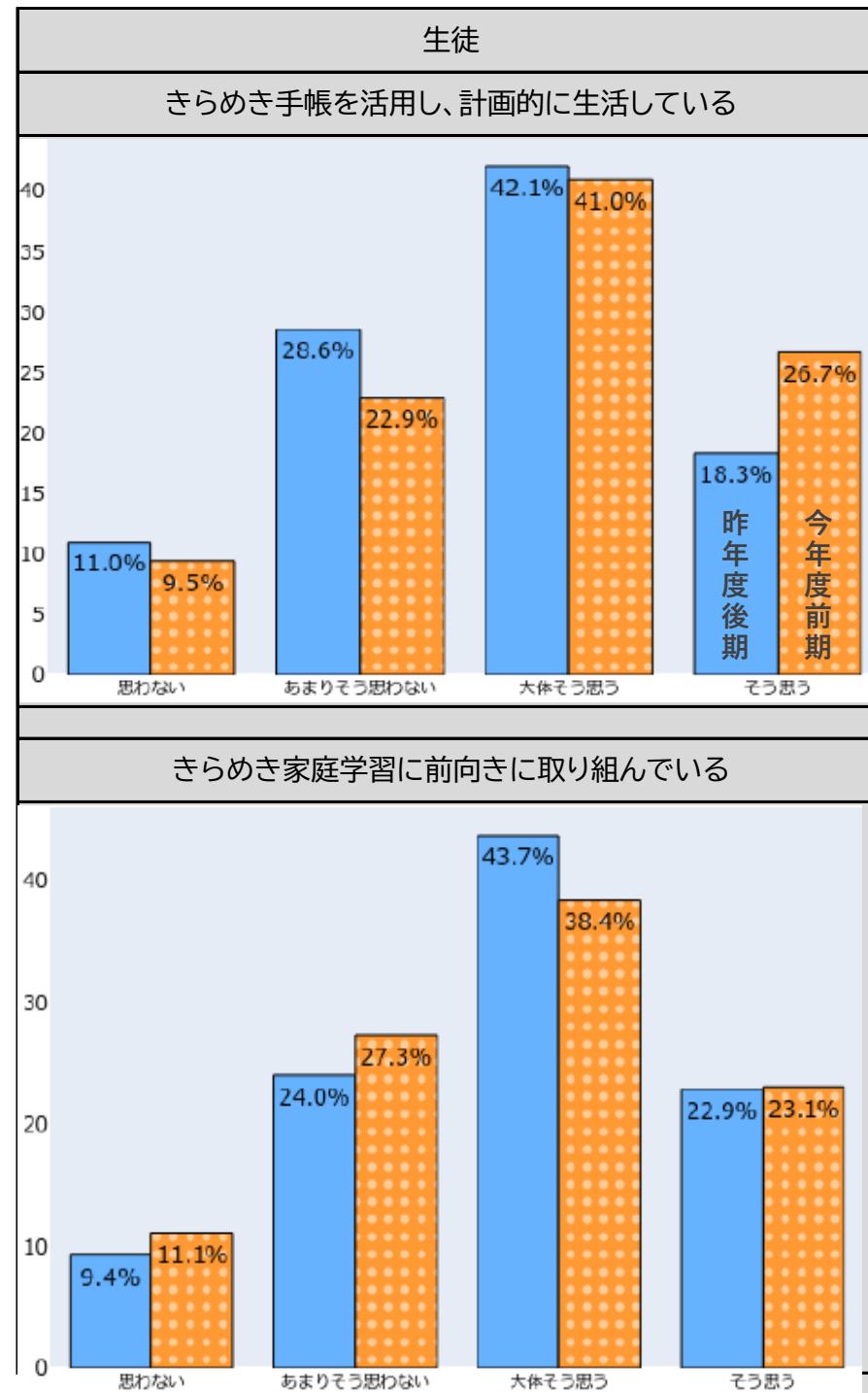


本校では「自分らしい生き方を探究する」ということを目標に掲げています。自分らしさの追求は、同時に他者らしさの追求でもあります。質問項目に対して否定的に回答している生徒を無視はできませんが、昨年同様、肯定的な回答割合がとても高いことをうれしく感じます。

子どもは、友達や周りの人を大切にした行動ができる



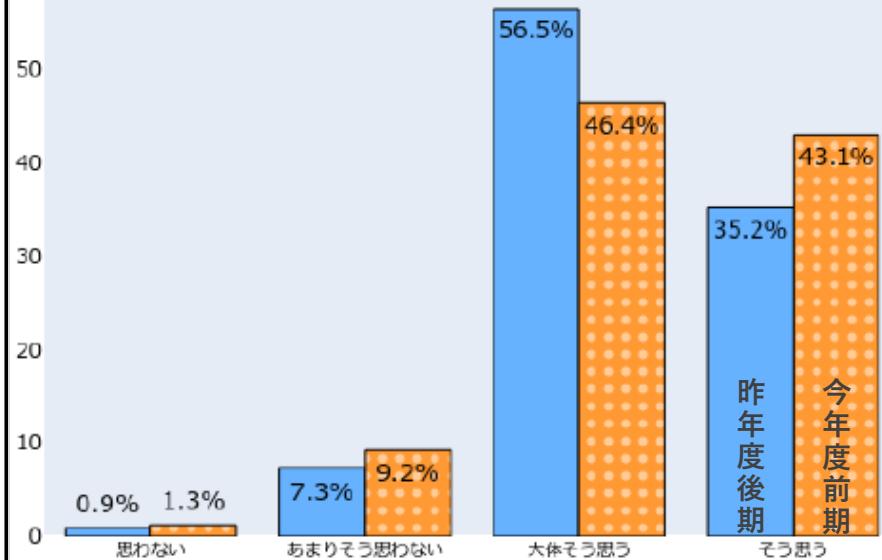
前期アンケート(3/4)



前期アンケート(4/4)

生徒

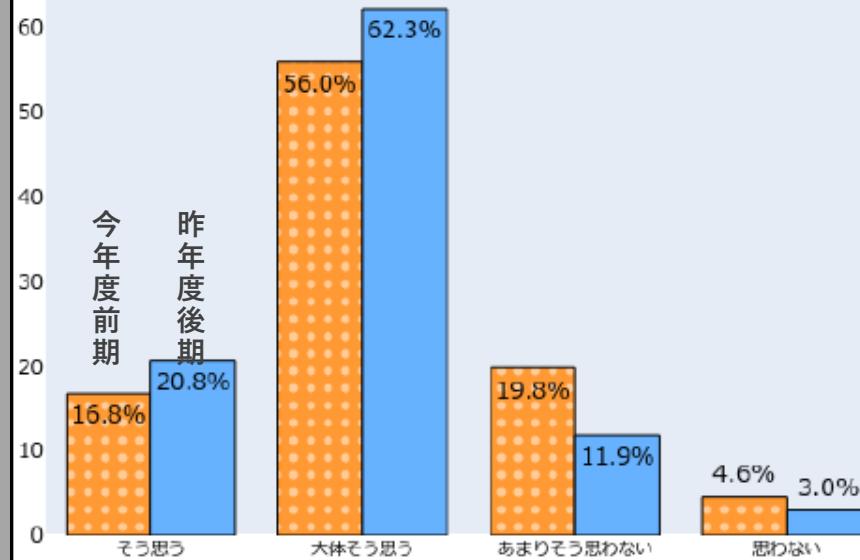
授業で考えを深めたり、広げたりしている



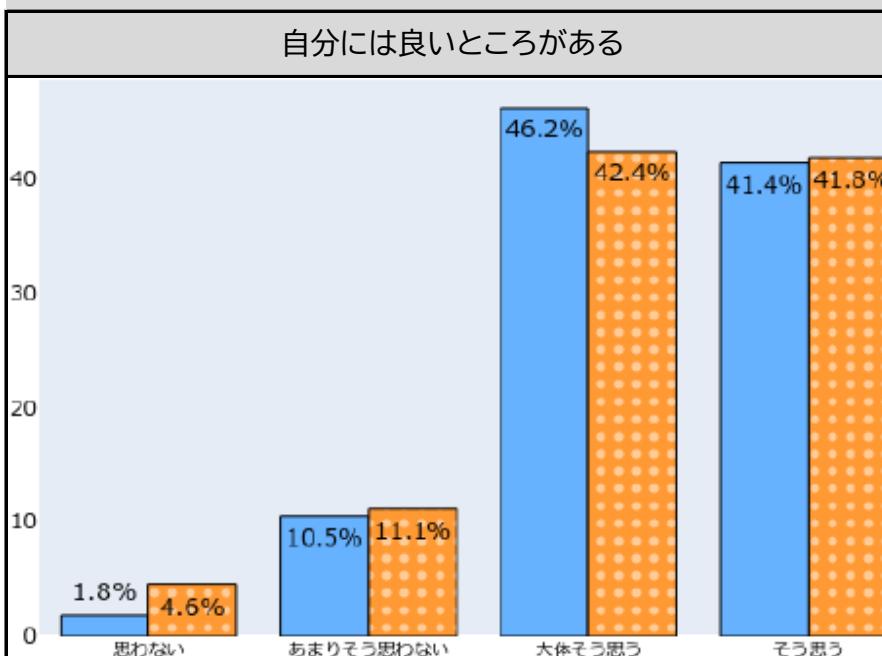
もっとも肯定的な回答が増加している一方で、否定的な回答も微増しています。様々な行事や取組も大切ですが、なにより、日々繰り返し行われる授業こそが、新たな見方や考え方、資質・能力の伸長にとって重要であることは言うまでもありません。このことを深く自覚し、更なる研修、研鑽を続けてまいります。

保護者

子どもは、学びを通して考えを広げたり、深めたりしている



自分には良いところがある



こちらは回答を比較する内容ではありません。各質問に対して、自分の認識と比べてみていただければと思います。この質問に限ったことではありませんが、質問に対して肯定的な回答の割合を高めていくにはどうすればいいのか、それぞれの立場から考え実践していくことが子どもたちが生きる未来社会をよりよいものにしていくにちがいありません。

子どもは、PCやスマートフォン、SNSなどの利便性や危険性について理解している

